（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスレインボー与那原

公表日　2026年　3月　25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	当事業所の床面積は100.8㎡/30.4坪あり、発達支援室も十分な広さがあります。（※設備基準では利用者1人あたり2.47㎡以上を目安）	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	経験豊かな保育士、児童指導員を適切に配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	子どもが分かりやすいようにカラフルなライン表示や掲示をしがけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清潔トイレ、予約制の調理室はそれぞれに清潔と衛生面を保っています。こどもたちに毎「手付けの時間」などを設けて、時間で生活環境をきちんと保ち、空間の清潔さを維持しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	気持ちをクールダウンする必要がある時には、職員室で過ごし、気持ちが落ち着いてから、みんなと過ごすことが出来るようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	PDCAサイクルを進めるために、毎日職員全員でミーティングを実施しています。また職員が運営の課題を提案し、改善策を話っています。毎年度末に事業所の重点方針として、職員一人一人の提案がアイデアを反映されています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価表を活用して、保護者からの意見を聞き、可能な限り業務改善を行い、フィードバックを行うようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員全員が安心安全聞けるミーティングを設け、毎年の会議要望事項に対応策を作っています。また職員が気軽に意見を述べられる環境を作っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	社会保険労務士による外部評価、また子育ての支援に関して専門的に職員相談を行い、支援方法に問題はないか等、評価結果を業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	年間計画を立て、定期的に研修を実施することで、職員が継続的に学ぶ機会を提供しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページで支援プログラムの公表を行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	子どもが来所の個別ケアなど、保護者や学校、関係からの意見も取り入れ、子どもの特性やニーズを多角的に分析し、子ども一人ひとりに合ったニーズに応じた個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援にかかわる職員全員で支援会議を行い、子どもの「最高の利益」を考え、計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画は全職員で共有し、毎日、計画に沿った支援と評価を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	「Vineland-Ⅱ適応行動尺度」「SM社会生活能力検査」等を用いてアセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び具体内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な課題が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた支援計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員全員参加で活動プログラムの企画・立案・実行を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	毎日、様々な子供たちが楽しめるプログラムを計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	その日の体調に応じた個別活動（学習、運動、遊戯活動、家族からの連絡、気持ちの切り替え、関係性）その日の時間やニーズに合わせて計画作成、実施しています。毎日個別に時間、体調等を記録管理を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担を明確にし、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援開始前には毎日ミーティングを行い、その日の支援内容や役割を明確にし、全員が同じ情報を持って連携のため部分を担当するのかを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	支援終了後、または次の日のミーティングで振り返りを行い、記憶が新しいうちに事実を出し合って、次回の支援に活かせるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日、記録用紙や報告書を使って記録し、相談や話し合いを行っています。その日の様子は個人の中を分析し、長期的な視野を持って、定期に振り返っていくようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	少なくとも6ヶ月に1回以上のモニタリングを行い、その継続、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	「日常生活の充実と自立支援のための活動」や「多様な遊び・仲間関係」や「こどもが主体的に参画できる活動」等を常に意識して取り入れ活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	決まりまるな場面で子どもが自己選択できるように「2～3択」で提示し、時間で選べる場面を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	保護者と一緒に、主治医の先生にお話を聞き伺に行ったり、学校や保育園とは常日頃から密に連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校とは送迎及び出席情報や教材などいっています。また常に知らることがある場合には学校や相談支援事業所を通じ、家庭内協力し情報共有し、一緒に支援ができるようにしています。	
	29	医学面に利用していた保育所や幼稚園、経営こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	医学面に利用していた保育所や幼稚園、経営こども園、児童発達支援事業所に連絡帳や口伝っと児童と良い様子確認を行ったり、必要な場合は、情報共有と相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	今年度は移行する児童がいなかったが、所事業所から移行する場合、移行先にそれまでの支援内容等の情報提供を行うことが出来るよう準備をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	0	沖縄県発達障がい者支援センターがじゅま～るさんの研修を計画しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域の児童館や図書館や公園を利用し、他の子どもと接する機会があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	与那原町自立支援協議会、与那原町子ども支援部会には必ず参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎日、帰りの送迎の際に、お子様の状況を伝え合っております。また常に伝えづらい内容（人間関係や発達障害等）を含め、お家の様子を聞いてこの相談等をしています。お子様の状態について共通理解をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、事業に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	当事業所でペアレントトレーニングを企画しました。また与那原町が開催しているペアレントトレーニングの研修の情報の周知を行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の際には、丁寧で分かりやすい説明を心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	ことも、保護者にお話を聞いた上で、何が今必要かを一緒に考え、こどもや保護者の夢がつまった計画案になるように何度でも成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画への同意を得ているか 。	6	0	計画の説明については、児童発達支援管理責任者が行い、保護者の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	それぞれの家庭毎に子どもの状況や関係を伝えた、個別のニーズをしっかりと把握した上で対応することついています。事業所に新しい面接相談アドバイスを提供し、保護者同士知事ことを相談し合う場を作っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	レインボー会同連動会を開催し、保護者の皆さまを招待しています。お子様の成長を見守りながら、長然な形で保護者交流ができる環境を整えています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情に対しては管理者が速やかに対応するようにしています。丁寧に話を聞き、改善に事業報告をかい、原因に解決できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	利用した日は、その日の様子を写真でお伝えしています。また日々の活動の様子について、毎日、ブログを更新しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報は適切な目的にのみ使用し、それ以上の収集はしません。職員間でもミーティングなどで常に意識できるように声掛けを出こなっています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との概想の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		地域住民を招待する行事は行えていませんでした。毎日、与那原町公園を利用しての活動を地域住民の方と接触できて、のんびりとやで地域に開かれた事業所運営できる中、毎日しているのです。
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	必要なマニュアルを策定し、3～4カ月に1回、避難訓練等を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、定期的に避難訓練や防災意識や知識を高めるための研修や訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	てんかん発作がある児童について、子どもの状況と対応方法について、職員全員と共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	現在までこ食物アレルギーの児童はいませんでしたが、食物アレルギーがある必子様が入った場合は、医師の指示書に基づき適切に対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたかで支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、定期的に研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0	安全計画に基づく取り組み内容について、保護者全員に定期的におたよりを出し周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットがあった場合は、毎日のミーティングにて共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止に関する知識やスキルを習得するため、定期的に研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	事業所に身体拘束は行っていませんが、やむをえず危険が伴うお子様等に対応する場合の対応と緊急時、緊急時を考慮しながら対応に関係者と、ご家族と協議事項を入へ協議時からは、ようやくこどもとなっています。また、やむを得ず緊急対応を行う場合に関して、明確な要件と緊急時を絞り込み考慮しています。	